

チョウに比べると、トンボの撮影は少し楽です。トンボ類の多くは、「何かの先端」にとまって、しばらく動かないからです。子どもの頃は「トンボのめがねは、水色じゃないなあ。」なんて思いながら、じっとしているトンボの目の前に指で渦巻きをつくって、目を回させたものです。この方法が本当に効果があるのか、今でもよくわかりません。

秋の八島湿原にもたくさんのトンボが舞っていました。幼虫にもとって成虫にとっても、生育するのに非常に適した環境なのでしょう。トンボには詳しくありませんが、これは「アキアカネのメス」のようです。

(2024年8月上旬／長野県八島湿原)

